

戦評用紙

大会名	平成28年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技
-----	-------------------------------

日時	2017年1月15日 13:40 ~	区分	山形県高校体育連盟
----	--------------------	----	-----------

チームA				チームB
日本大学山形				羽黒
96	21	1Q	20	92
	11	2Q	27	
	30	3Q	24	
	25	4Q	16	
	9	延長	5	

【戦評】

白のユニフォーム日本大学山形高校と青のユニフォーム羽黒高校の対戦。白は#5・6・7・8・10青は#4・5・7・10・12がスターティングメンバー。

1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンス。先制点は白#10。ミドルジャンプシュートを決める。序盤は両チームともオフェンスリバウンドを拾い、点数を重ねていく。白はアウトサイドのシュートを決め引き離しにかかるが、青は#10が連続でドライブを決め、話されない。一進一退の攻防が続き、白21-20青で1Q終了。

2Q、先制は青。#13がインサイドプレーで得点する。白も#10がすぐさま入れ返す。しかしここで青#4、#10が連続で3Pシュートを決める。白も得点を返すものの徐々に点差が広がっていく。5分、白29-32青のところ白が1回目のタイムアウト。しかし流れを止められず、青が#4の3Pシュート、#10のドライブと連続で得点を決める。白は前半2回目のタイムアウト。白29-41青。青が点差を広げていく展開。最後も青が3Pシュートを沈め白32-47青を15点差で前半を折り返す。

3Q、先制は青。#10がドライブから得点を決める。対して白も#7がドライブからバスケットカウントを決め取り返す。白はここからオールコートのマンツーマンディフェンスを仕掛ける。白は#10のドライブ#7の3Pシュートで点差を詰め、3分、白42-51青となったところで青が後半1回目のタイムアウト。その後青は#10のアウトサイドシュートやドライブからオフェンスを組み立てていく。青は#4が3Pシュートを決め引き離しにかかるが、白も#7が3Pを入れ返す。白62-71青で3Q終了。

4Q、青はディフェンスをハーフコート2-3ゾーンに変える。先制は白。#8がリバウンドからバスケットカウントを奪う。このまま追い上げたいところだが、青は#4が3Pシュートを決める。白66-76青、白が後半1回目のタイムアウト。その後は青のアウトサイドが落ち始め、徐々に白が点差を詰める。白が#8の3Pシュート、#10のドライブで一気に点差を詰め、6分、白76-79青となったところで青が後半2回目のタイムアウト。その後はお互いに積極的に攻撃、残り時間1分を切ったところで、白84-85青、青のリード。白は残り5秒で#7が3Pシュートを決め逆転したが、青は最後のワンプレーでブザーと同時にシュートファールを受け#10がフリースロー。これを2本決めて延長に突入した。

延長、最初の得点は青、#13がミドルシュートを決める。対して白は#7の3Pシュート、#8のパスカットからの速攻でリードを奪う。青も#4が3Pシュートを決め同点まで追いつくが、白#6がドライブからタフショットを決めリードする。最後はファールを受けた白#10がフリースローを2本決めてゲームを決定づけ、そのまま試合終了。日本大学山形高校が勝利を収めた。

両チームとも最後まで諦めない姿勢が素晴らしく、年初めの優勝決定戦にふさわしい好ゲームだった。

戦評者

神位 裕介